

命を守ってくれる防潮堤や

辻 竜平

初めて防潮堤や閘門という言葉を知ったのは、四年生の三学期のことでした。それでは、尾崎はゼロメートル近くで、むきいたら、びびりしました。それから国土交通省の谷本をのあだなもつけました。谷やんにしました。ぼくたちは谷やんにポンプ場をあんないしてくれました。ポンプ場はいろいろな物があります。それが、バスに乗って船のばしよに行きました。船に乗る前にジャケットをきかないといけないむずよ。と、言っていたので、ジャケットをきないといけないんだな、と思えました。船に乗ってちよつといつたら、閘門が見えました。閘門のあいだに入ったら、クラゲがいきました。戻して海に出たら、魚がピョンピョンとはねていました。そして、右が物を見ると、防潮堤が見えました。津波や高しおがきても、防潮堤がぼくたちの命を守ってくれ

●まちがった字× ●よくわからないところ〰〰〰 ●小さい字になおす△ ●かんじにする□ ●字がぬけているく ●よくかけている○○○○

●一字さげるハ ●カタカナにする〃〃〃〃 ●とってしまふ〓 ●行をかえる― ●一ますあける⚡ ●行かえするな―

